

北カリフォルニアの事業環境・活動状況（北カリフォルニア）

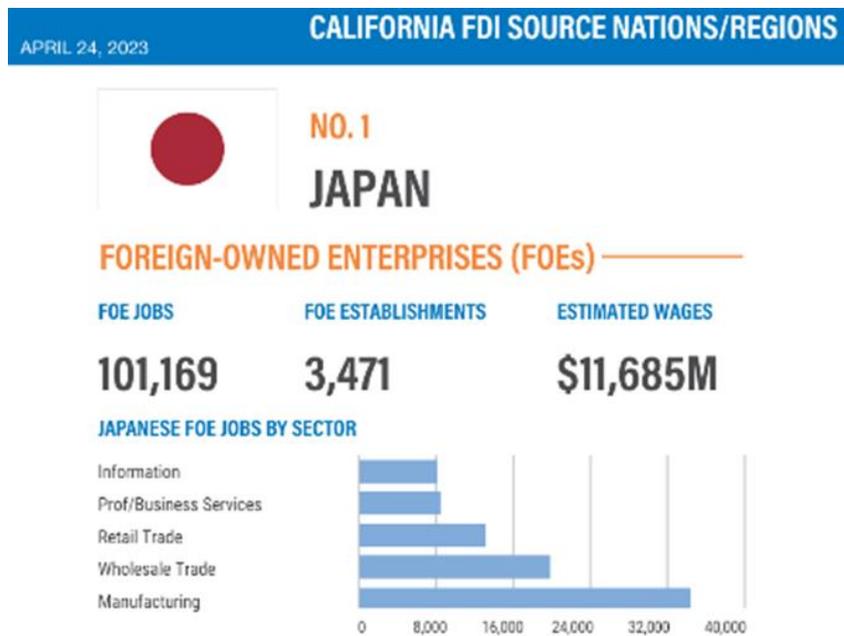
北カリフォルニア日本商工会議所（Japanese Chamber of Commerce of Northern California、略称 JCCNC）は、1951 年に設立された会員約 300 社のユニークな商工会議所。北米で唯一の日系企業と日系アメリカ人企業が同じ組織で、ビジネス促進、日米友好、地域貢献等の活動を行っている。

カリフォルニア州は、全米 50 州の中で最大の国内総生産（GDP）、2023 年の成長率は 2.1% で、歴史的にも経済的にも日本とは深い関係にある。現在、進出日系企業は 3,500 社、その総雇用 10 万人、その総賃金 117 億ドルとなっており、海外直接投資国として日本は英国、仏国を押さえ 1 位に位置している。

この関係をより強固にするため、2024 年 3 月 19 日にはカリフォルニア州上・下院議員の間で友好連盟「カリフォルニア-日本友好議員フォーラム」が結成された。今後、その協力項目である①気候変動②クリーンエネルギー③経済発展とイノベーション等を中心に、日本側の同友好議員連盟（2014 年発足済み）と双方のより深い関係と協力が進むことを期待する。

当所は、南カリフォルニア日系企業協会（JBA）と共に産業側代表として毎年州都「サクラメント」を訪問し、政府機関、上・下院議員等との面談を通して友好関係の維持、課題の取り組みに努め、上記三項目に協力。日本-カリフォルニア間の自動車運転免許の試験免除等はその取り組み項目の一つである。

また、全米日本商工会議所・商工会では定期的に連絡会を行っている (<http://jcc-us.org>)。



<日本はカルフォルニアへの海外直接投資 No. 1

LAEDC (Los Angeles County Economic Development Corporation) より>

【シリコンバレー・スタートアップ】

技術革新と起業精神の中心地「シリコンバレー」は、多くのテクノロジー企業やスタートアップ、投資家、研究機関が集まり、革新的アイデアが生まれ育ちやすい環境にある。サンフランシスコの街中を無人タクシー（写真1）が走る様子も最初は驚いたが、最近では慣れてきた。

日本企業も多くのR&D拠点、ベンチャーキャピタル、投資・育成拠点を置き、スタートアップの皆さんも続々と訪問・進出している。

これを支援する拠点として昨年11月に、シリコンバレーの中心パロアルトに経産省/JETRO 支援で「Japan Innovation Campus」（写真2）が設立され、多くのスタートアップが集い連日ピッチ（プレゼン）やネットワーキングイベントが行われ活況を呈している。

当所としても、日本企業と米国スタートアップを繋ぐモビリティイベント、米国側商工会議所との共催のAIイベント、日本スタートアップのAIイベント、Italy 等在外商工会議所との協カイベント、ウォーレンバフェットも注目する総合商社6社が一堂に会するイベント、また新規着任者向けイベント等々多くのネットワーキングイベントを行い、会員含めた当地域での事業機会の支援を行っている。



（写真1）サンフランシスコ市内を走る無人タクシー

（写真2）2024年2月 Japan Innovation Campus
医療方面のスタートアップピッチイベントの様子

【州政府の中小企業・ダイバーシティ企業支援】

一方で、既存事業に対しての活動の一例として、州政府は中小企業・ダイバーシティ企業（マイノリティ・女性/LGBT Owner 等）に対する支援を行っており、州の行う電力、交通、通信、水等のインフラ事業はこれらに25%の発注ガイドラインがあるため、4月には州政府公益事業委員会（GPUC）主催のこれら企業を対象とした参入説明会・展示会が行われ、対象の会員企業と共に参加した。

今年2月には、日本商工会議所より当地に訪問があり（写真3）、今後の協力に向けた貴重な意見交換及び食品関係の会員企業を訪問いただき、本邦側との更なる交流・協力が進むことを期待する。



(写真3) 2024年2月日本商工会議所より会員企業訪問

北加日本商工会議所ホームページ

<https://www.jccnc.org/>

(北カルフォルニア日本商工会議所 事務局長 洞 恵司郎)